

小豆地域の新たな高校づくりに向けた意見交換会（第1回）議事要旨

日時 平成22年6月7日（月）15:00～17:00

場所 小豆総合事務所南館1階会議室

1. 開会
2. 課長あいさつ
3. 参加者紹介
4. 小豆地域の新たな高校づくりに向けた意見交換会についての説明
5. 議事
 - (1) 小豆島高校と土庄高校の現状
 - (2) 小豆地域の統合校の教育課程（素案）の説明
 - (3) その他

<主な意見>

1 小豆島高校と土庄高校の現状

○小豆島高校、土庄高校とも、生徒の成績レベルに大きな開きがある。

2 統合校の特色

○進学にも就職にも幅広く対応できる高校が望ましい。

○高松の高校に出て行く生徒を島内に食い止めたい。高校までは島で過ごして、島に愛着をもってもらいたい。そのためには、有名大学へ進める高校をつくるべきだ。

○子どもにとって何が幸せかを第一に考えたい。できるだけ良い大学へ入り、よい会社へ入ることが幸せと考える人が今は多いので、良い大学へ進める高校が良い高校である。

○これまで小豆島高校や土庄高校が築いてきた大学の指定校枠や推薦枠を統合校に引き継いでほしい。学力が多少低くても高校在学中に頑張れば大学に進める制度は大変ありがたい。

○島内の地場産業関係者からの要望として、高校卒業生には、商業などの専門的な力よりも（読み書き計算などの）基礎学力をしっかりと身につけさせてほしい、という声がある。

○小豆島に合った島らしい高校をつくり、子どもたちには島に愛着をもってもらいたい。よその地域の高校をモデルにしても仕方がない。学科のタイプには一長一短があって、我々にはよく分からない。できた学校がベストと思って大切にしないといけない。

3 入試の方法

- 高校入試の際に複数のコースを選択できるほうが、生徒がそれに向かって努力し、能力を伸ばすことができる。

4 学科やコース等の構成

- 頑張った子を伸ばしてやれるのは普通科だと思う。
- 入学後の進路変更に対応しやすいという面で、総合学科よりも普通科のほうがよい。
- 総合学科のことがよく分からない。例えば学級はあるのか。時間割はどうなっているのかイメージが湧かない。
- 各素案のメリット、デメリット等を分かりやすく整理してほしい。

5 定時制について

- 定時制について、島内に1箇所だけでは、遠隔地の生徒が勤務後に登校できるのかと不安視する声がある。サテライト方式など2箇所に残すことも考えられないか。
- 中学校としても、ぜひ定時制を存続してもらいたい。小豆島では、地理的・経済的に私立高校に生けない子も多く、最後の受け皿として定時制は必要だ。

6 その他

- 校区ごとにPTAの意見を集約したいと考えているので、この意見交換会で1年をかけてじっくりと声を聞いてほしい。
- 中学校、高校の教員の意見を聞く機会を設けてほしい。
- 高校の跡地問題は、町の小中学校の統合等にも大きな影響がある。可能な範囲で情報を提供してもらいたい。